

コミュニティ・スクールだより

第2回学校運営協議会を開催しました

10月4日(火)、第2回学校運営協議会を開催しました。今回は、熟議を中心に行いました。積極的な意見交換がなされました。熟議とは、関係者が当事者意識をもって集まり、「学校や地域の課題」を共有し、「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決を目指す対話のことです。

熟議の結果報告

今回は、熟議を取り入れ、ワークショップ型のグループ討議を行いました。まず、学校より「今までの職場体験と来年度準備に向けた課題点」について説明しました。説明後、委員は4～5人のグループになり、職場体験学習について考えた意見を付箋紙に記入し、意見集約用紙に貼りながら意見を交わしました。

テーマ：「生徒が主体的に楽しく活動できる職場体験学習とは？
～私たちにできることは～」

自分の立場でできそうなこと

- ★小学校としてできることは
 - 小中のキャリア教育の系統を再考する。
 - キャリア教育の中で様々な職業があることを理解させる。
 - 地域を学ぶ教育を実践し、社会に目を向ける活動を行う。
 - コミュニケーション能力の育成を図る。

- ★地域としてできることは
 - 学校運営協議会の委員から知り合いの業者に働きかけ受け入れ先を広げる。
 - 市民清掃活動作業などのボランティア活動を通して、いろいろな体験を実感させる。

- ★保護者としてできることは
 - 家庭で生徒と保護者の間で、職業について話し合う機会を設ける。



学校からの説明

他の立場の人をお願いしたいこと

★中学校に期待したいことは

- 生徒の希望にあった職場体験学習ができるようにする。
- 受入業者一覧を刷新する。

★小学校に期待したいことは

- 小学校から段階的に職業体験についての学習を進める。

★地域に期待したいことは

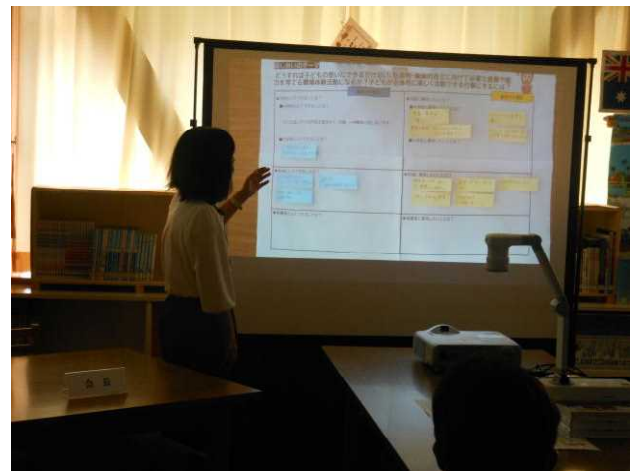
- 地域学校協働本部から各業者に対して受入依頼を行い、業者リストを作成する。
- 生徒の希望にない業種については、新たに依頼する。
- 業者に職場体験学習の意義を周知し、受入時期をいつでも可能する。
- 起業家や経営者・地域活性化に努めている人などに、講演会を開催してもらう。
- 協力業者から職場情報を定期的に提供してもらう。



各自の考えを付箋紙に記入



グループでの意見交換



発表で意見を共有

職場体験学習に対して、各委員さんから様々な視点で、たくさんのご意見をいただきました。今後、いただいたご意見をもとに「どうすれば子どもの思いにできるだけ沿い、社会的・職業的自立に向けて必要な資質や能力を育てる職場体験活動になるか。」「子どもが主体的に楽しく活動できる行事にするにはどうするか。」の検討を行い、第3回学校運営協議会に報告したいと考えています。